

# 監視指導状況報告書

1 監視指導年月日	平成 26 年 6 月 23 日 (月)
2 監視員	[REDACTED]
3 業者氏名	[REDACTED]
4 業者住所	① 熱海市伊豆山C工区 ② [REDACTED] ([REDACTED])
5 立会者	① なし ② [REDACTED] 氏

6 概要

①熱海市伊豆山C工区

<調査結果>

- ・ 廃棄物の状況を確認するため、熱海市伊豆山C工区の現地確認を行った。
- ・ 確認の結果、前回立入時（平成 26 年 4 月 17 日）と状況の変化は認められなかった。

<現場状況>



②

土地所有者（ ）の代理人である、 の に  
面会し、昨年度より指導継続中の「がれき類の掘り起こしと再利用」について、状況を確認した。

【東部健康福祉センターの照会内容】

- 先ほど現場を確認させていただいたが、状況に変化は認められなかった。昨年度から指導している「がれき類の掘り起こし」の進捗はいかがか？
- 現地の造成についても、4月に現場を確認させていただいた以後、進んでいないように見受けられる。造成計画が変更になり、県の許可を取り直さなければならないとのこともあったが、計画の進捗はいかがか？

【 の説明内容】

- 土地開発については、現在、現場の作業を止めて、開発申請のための手続きや事前協議の準備を進めている。市長や、熱海市まちづくり課、県議会議員とも話しをしながら、計画を固めている段階である。
- がれき類の掘り起こしについては、現場の造成と平行して進めたいと考えているため、現状は、まだ進んでいない。
- がれき類の掘り起こしは、 の考え次第である。 に直接指導をされたい。
- は、伊豆山C工区の廃棄物について「本来は、 や、 をしっかり指導しなかった）県に責任がある。しかし、そう言ってばかりでは廃棄物が片付かないので、ボランティアとして、撤去に協力をする。」と考えている。 の考え方は独特で、我々（ ）も、 の気持ちを読みきれない部分がある。
- 以前 が、 に、がれき類の掘り起こしを進言したことがあったが、その時には に、「お前は誰に雇われているのだ。県なのか。」などと恫喝された。
- 今後、 と面談をする際には、指導の言い回しに注意をした方が良い。その方が、結果としてスムーズに廃棄物の撤去が進むと思われる。
- は、金曜日にこちらの へ来て、夕方に新幹線で帰ることが多い。面談の日程調整は、金曜日の午後1時頃が良いのではないか。

<今後の対応>

C工区：埋められたがれき類について、引き続き適正処理するように指導し、工事が始まれば実際に適正処理しているか現場を確認していく。

◎ 区 分

排出事業所	製造業	多量排出事業所		その他	○
		その他			
	建設業	多量排出事業所		し尿処理施設	
		その他		ごみ処理施設	
	特別管理産業廃棄物排出事業所			焼却	
	下水処理施設			埋立	
産廃処理業者	埋設地を有する事業所			その他	その他処理施設
	その他				
	収集運搬	特管物以外		◎産業廃棄物処理施設	
		特管物		許可対象	中間処理施設
	中間処分	特管物以外		最終処分	安定型
		特管物			管理型
最終処分	特管物以外			遮断型	
	特管物		許可対象外	中間処理施設	